



松木 純子 議員

## マキノ西浜産業用地 開発について

問

湿地帯であることが造成費の増額につながる可能性はあるか

答

調査結果やその後の事業進捗により、造成費の変動はあるものと考えています

問

造成費の試算はいつの時点で行われたものか。

答

商工観光部長

本年1月末に県が当該事業の採択候補地3か所を公表されました際に県から報告を受けたものです。

問

湿地帯であることが造成費の増額につながる可能性はあるか。

答

商工観光部長

現在、県において基本計画が策定中でありますことや、来年度以降に現地で測量や土質調査等の各種調査がなされる予定となっておりますこと

問

湿地帯であることが造成費の増額につながる可能性はあるか

答

調査結果やその後の事業進捗により、造成費の変動はあるものと考えています

から、調査結果やその後の事業進捗により、造成費の変動はあるものと考えています。

から、調査結果やその後の事業進捗により、造成費の変動はあるものと考えています。

問

財政状況が厳しい中でこの事業を進めていくことについてどのように考えているのか。

答

商工観光部長

市内への企業立地を進めることは、産業振興、地域経済への波及ならびに雇用創出や市民生活の安定を図る上で、市政の重要な課題と認識しております。こうした事業を県にも大きな負担を頂きながら、連携して進めるといふ事は大きな機会であると捉えており

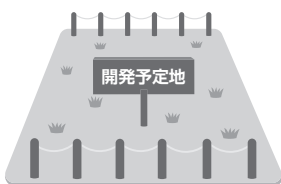
問

土地取得に関して地権者の進捗状況は。

答

商工観光部長

当該地は120名を超える地権者の方がいらつしやいます。現在居所不明な方はあと2名というところで、関係機関等に所在を照会し調査を進めているところです。



問

居所が不明な地権者の所在が分からなければ、市としてどう対処されるのか。

答

商工観光部長

今後どうしても居所が不明な場合は、弁護士の方への相談や、場合によっては裁判所に対して管理人の選任を申し立てるなどの手続きが必要になる可能性があると考えています。

問

開発行為を伴う企業誘致の際の環境配慮について。

答

商工観光部長

当該地の生物環境について一定の把握が必要であると認識しております。基本計画策定後の各種調査の中で、当該地の生物環境の現状把握や開発の方向性が検討されるよう、県とも適宜協議してまいりたいと考えております。

### その他の質問

・透明性のある市政運営と納得いく市民説明と政策決定を